

学校だより 朝日丘

令和6年11月1日

氷見市立朝日丘小学校
氷見市朝日丘3番1号 TEL:74-8422 FAX:74-8423

研究授業を行うのは何のため？

授業研究会が続いた10月が終わりました。日本の授業研究は、海外の研究者や学校においても高く評価され、諸外国のモデルとなっています。授業研究を“Lesson Studies”等ではなく、“Jugyo-Kenkyu”と紹介されることもあります。

ところで、授業研究は何のために行うのでしょうか。端的に言えば、「授業改善」のためでしょう。子供たちや教材についての理解を深め、今後の授業に活かしていくことで、教師としての力量は高まっていくはずです。

でも、それに加えてもっと大切な要素があると私は考えています。それは、「授業をもっと楽しめるようになる」「授業がもっと好きになる」ということです。

例えば、「野球が楽しくてたまらない選手」と「いやいや練習している選手」ではどちらが上達するか、「料理をするのが好きでたまらないシェフ」と「仕事のために仕方なく料理しているシェフ」ではどちらの店がおいしいかなどと考えてみると、「楽しむ」「好き」であることの価値が感じられると思います。

10月の授業研究を通して、本校の教員が、ますます授業好きになってくれたとすれば、これ以上の成果はありません。



<小学校教育課程授業研究会>



<学校訪問研修会>



<ICTを活用した授業づくり研修会>

南中生の歌声に感動！

南部中学校では、10月24日に氷見市芸術文化館で合唱コンクールが開催されました。その合唱コンクールに向けて練習している中学生が、小学生の希望者に合唱を聴かせてくれる機会をつくってくれました。南部中学校の3年生による「Gift」と「足跡」の合唱です。心に響く感動的な歌声で、感動の渦に包まれた感じがしました。中学校が併設されているというのは、本当にめぐまれた環境です。



ホームページに掲載した写真より

